

CAUTION!

ADULT ONLY!

CAUTION!

CIRCLE OUTERWORLD
MIDGARD

2008
WINTER

ADULT ONLY!

CAUTION!



みんなの
望み？

—そう

姉さんが
魔族から神族になるのは、
みんながそれを
望んでいるから…

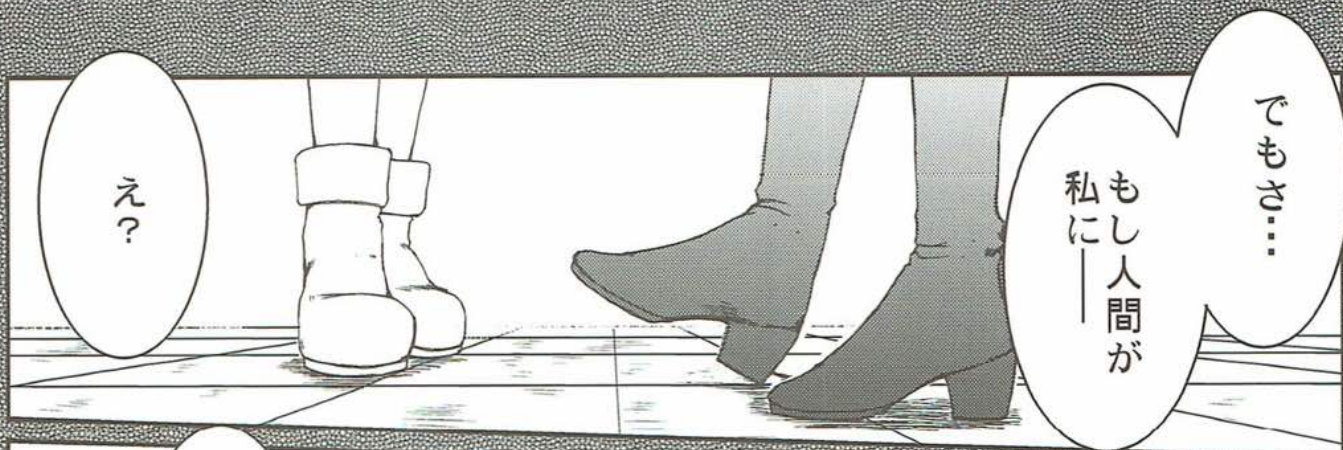
父さんや私や
スクルドや…

ううん

これから会う
たかさんの
地上の人々も…

きっと
女神としての
姉さんを望んでいるわ

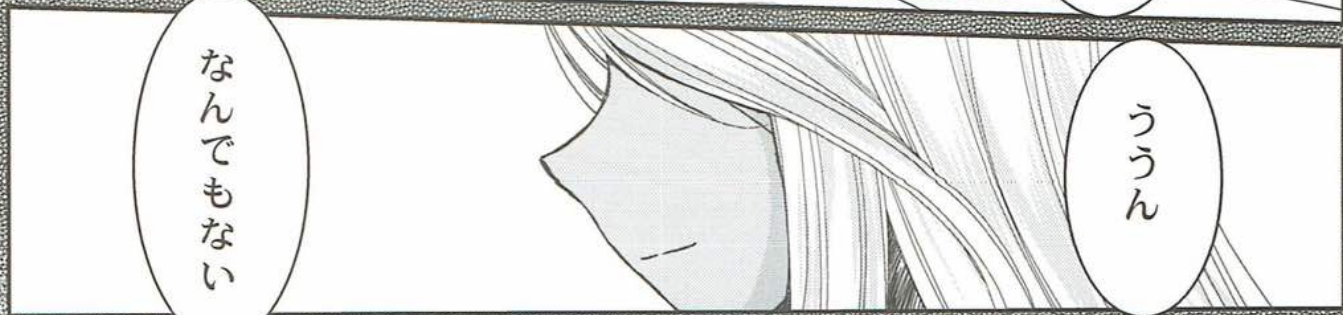
……



え？

もし人間が
私に――

でもさ……



なんでもない

ううん



私は――

神性ではなく
魔性を望んだら……

もし人間が
私に……

その時
私は――

魔女だっ

そうだな
ウルド!

そうよ...

私は
魔女...

あっ

おまえは
魔女だっ!

淫乱な
魔女なのオオオ♡

あっ

相手だろうが
ガキだろうが
俺達だろうが
関係ねえ!

チンポが付いてりや
それで満足なんだよな!

あっ

お干し和
大好き♡

そうっ
好き♡

あっ

おおっ出るっ

出すぞっ

いいワっ

なか
内につ

また
なか
内にイ

なかにイ
イイイイ

辛そうだな
アーサー

無理もない

わかるぞ
激しく心が
揺れているのだろう

あーっ

あ

イクっ

イクっ

おまえが慕っていた
ウルドがあのような
淫乱で恥知らずな
魔女だったのだから...

今の心になれ
素直になれ

私もオマエを
処刑したくは
ないのだ

一言、
魔女だと――

はあーっ

はあーっ

僕には
出来ないよっ

はあーっ

そこまで
私の事を……

神父さま、
もうどうでも良いじゃ
ないですか

そーそー
しばらく首のロープが
一本から二本に
増えるだけですよ

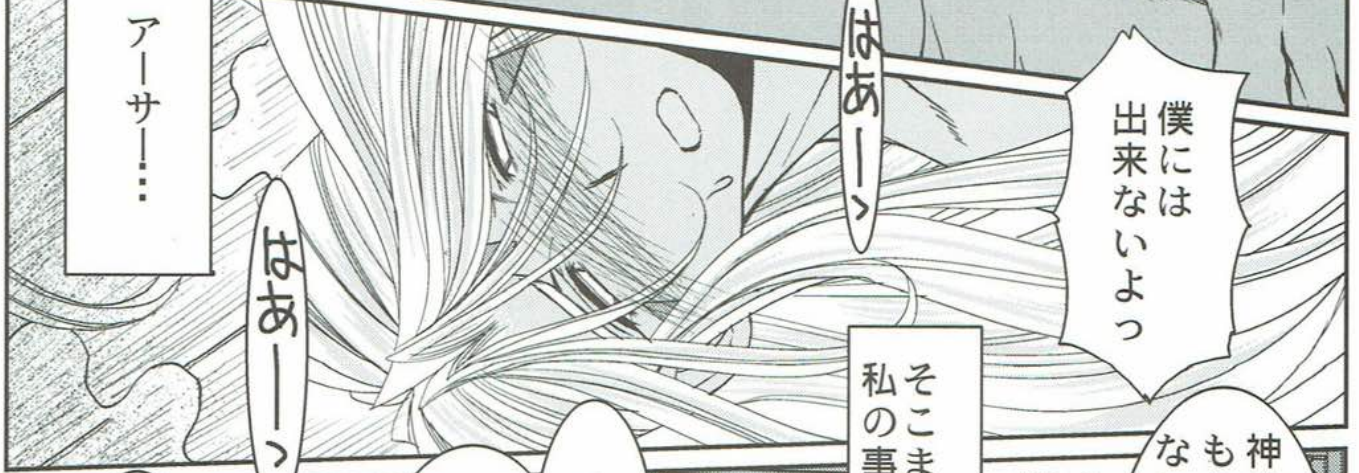
でも
今の私には……

ま……待って
はあーっ

だめよオオ

ウルドを悪者にして
僕だけが助かろう
なんて……

いやだよ……



あなたを裏切る事しかできない……

もつと

もつと

おちんちん

誰のでもいいから……

あなたの想いに応えるために……

もつとおちんちん

あなたのために……

んっ……

まだするの……

んっ……

だからもつと……

もつと淫ら……

もう勃たねえよ

ああん
だめよ

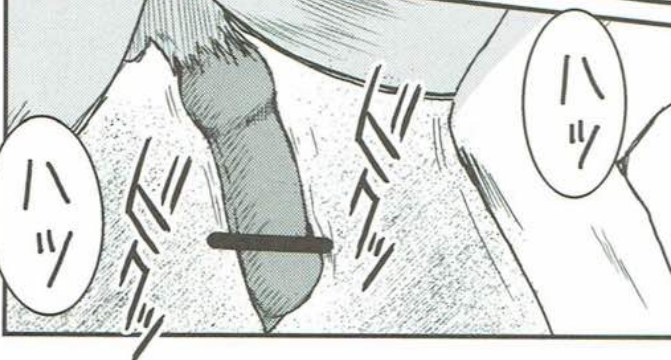
ホレ
がんばれよ

んっ

んっ

!

ガリガリ!!



ほう…

あ♡

あ♡

なによ
まだ元気がない
いるじゃない

あいわ
あなたから先に
相手を

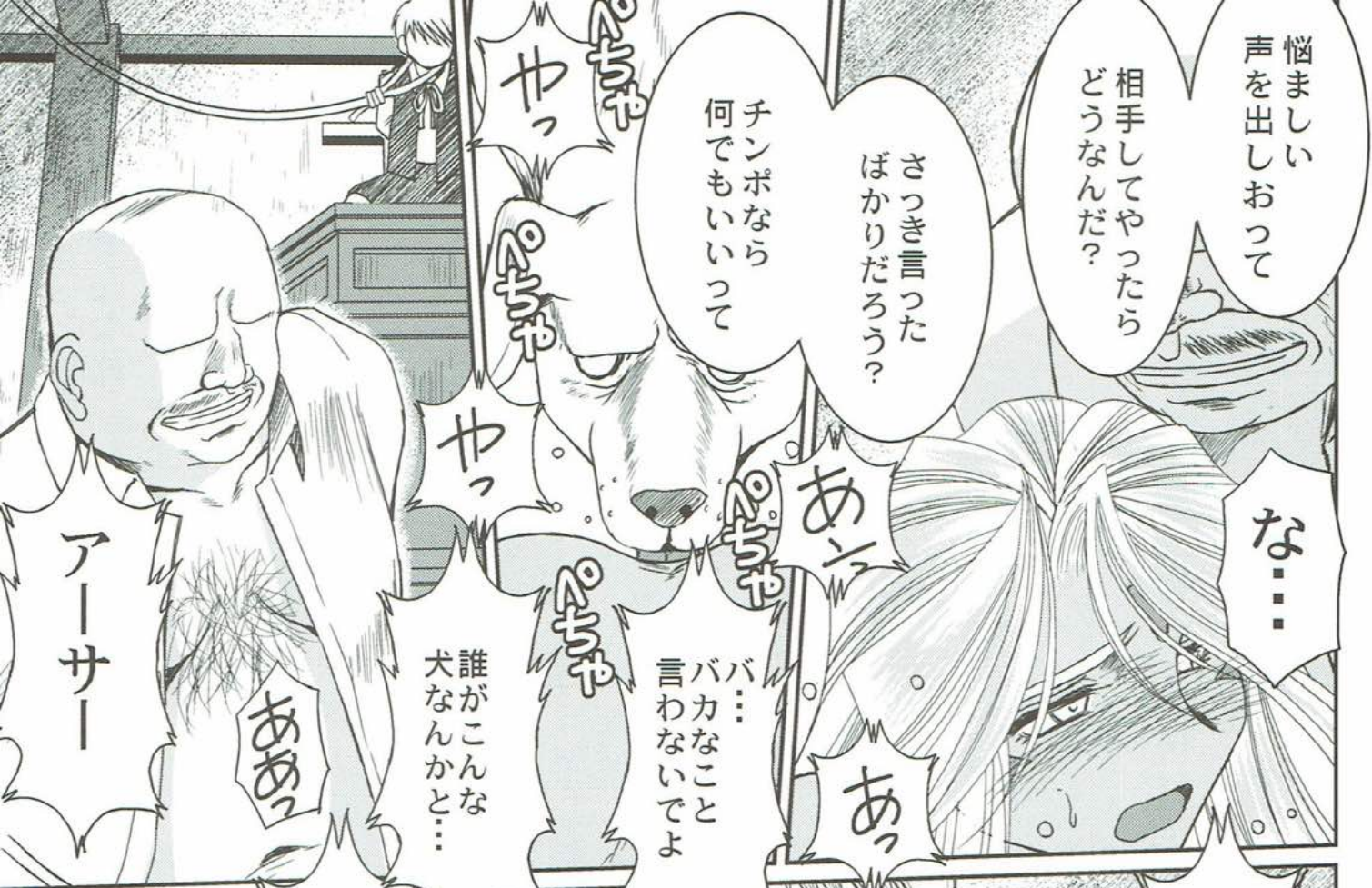
え？

ははっ

オマエの
小便のニオイに
盛っちゃまった様だぜ

なに？

ちよつと
なによ
この犬！



悩ましい
声を出しおって

相手してやったら
どうなんだ？

さっき言った
ばかりだろう？

チンポなら
何でもいいって

わんわん
やっやっ

やっ
わんわん

やっ

わんわん

あ

な...

あ

バ...
バカなこと
言わないでよ

誰がこんな
犬なんかと...

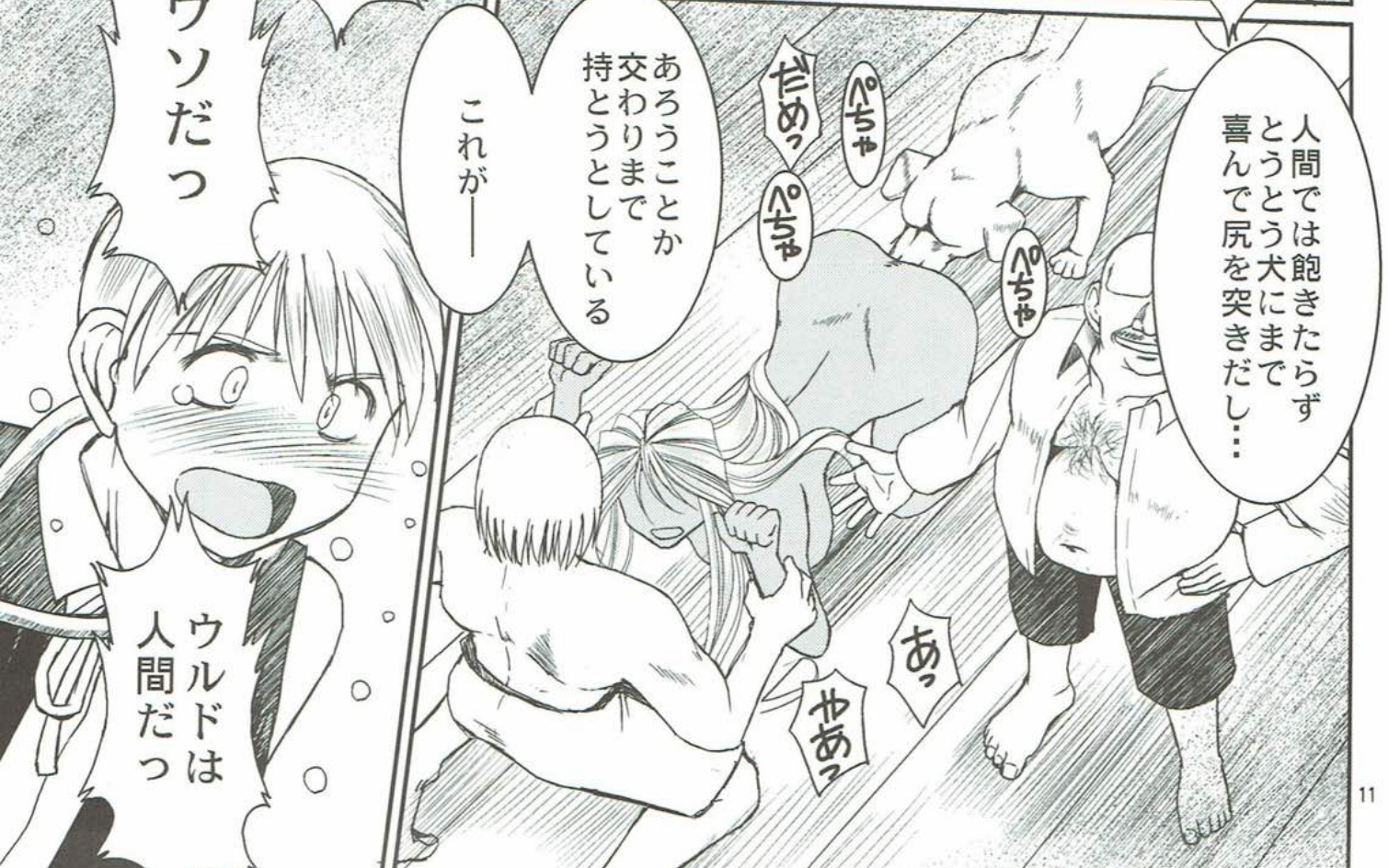
ああ

アーサー



よく見ろ
アーサー

この女の
姿を！



人間では飽きたらさ
うとう犬にまで
喜んで尻を突きだし...

あろうことか
交わりまで
持とうとしている

これが...

ウソだつ

ウルドは
人間だつ

人間がそんな事
するわけ
ないじゃないか

人間が…

ウルド
逃げてっ

ウ…

…ル…ド？

ソレナラ
魔女ハ…

ハッ

スルワケナイ…

あっ♡

あっ♡

はぁーっ

はぁーっ

あっ♡

ハッ

ハッ

ハッ

おー…

ハッ

おおお…

魔女ダツタラ…

！



あつ

じ…
上手よ

そこっ

あっ

あっ

あっ

イ…
イイコね♡

あっ

あっ

あっ

何かの生き物が
のたうち回ってる
みたい♡

人間よりも
長くて大きくて

あーっ

スゴイ…

動きが
速すぎるっ

犬の舌つて
スゴイ…

あーっ

ああ
ああ
ああ

もっこ
ぷるぷる
してるっ

そしてコレが…

犬のおちんちん…

地上生物の授業で
見た事があるけど

違う…

ん？

はあ—

はあ—

はあ—

はあ—

ん？

ん？

ん？

ん？

太い針金が入ってるみたいに
硬くて…

それにこんなに
大きくなる
なんて…

おええっ

よくあんなモノ
口にくわえられる
ぜ…

信じられねえ

ん—

臭いも
ヒドイし…

でも、

美味しい…

ん—

ん—

裏切るって
気持ちイイわよお

ウルドちゃん♡

そう、
私は...

ウラギル

あなた
人間の
ために...

ごめんね
アーサー

まだ満足して
ないみたい
なのよ♡

このコ

私は
あなた
人間を裏切る—

あなたの
おチンポ
挿れてえ♡

さあ挿れて♡

交尾…イイ♡



オオオオオ

オウ

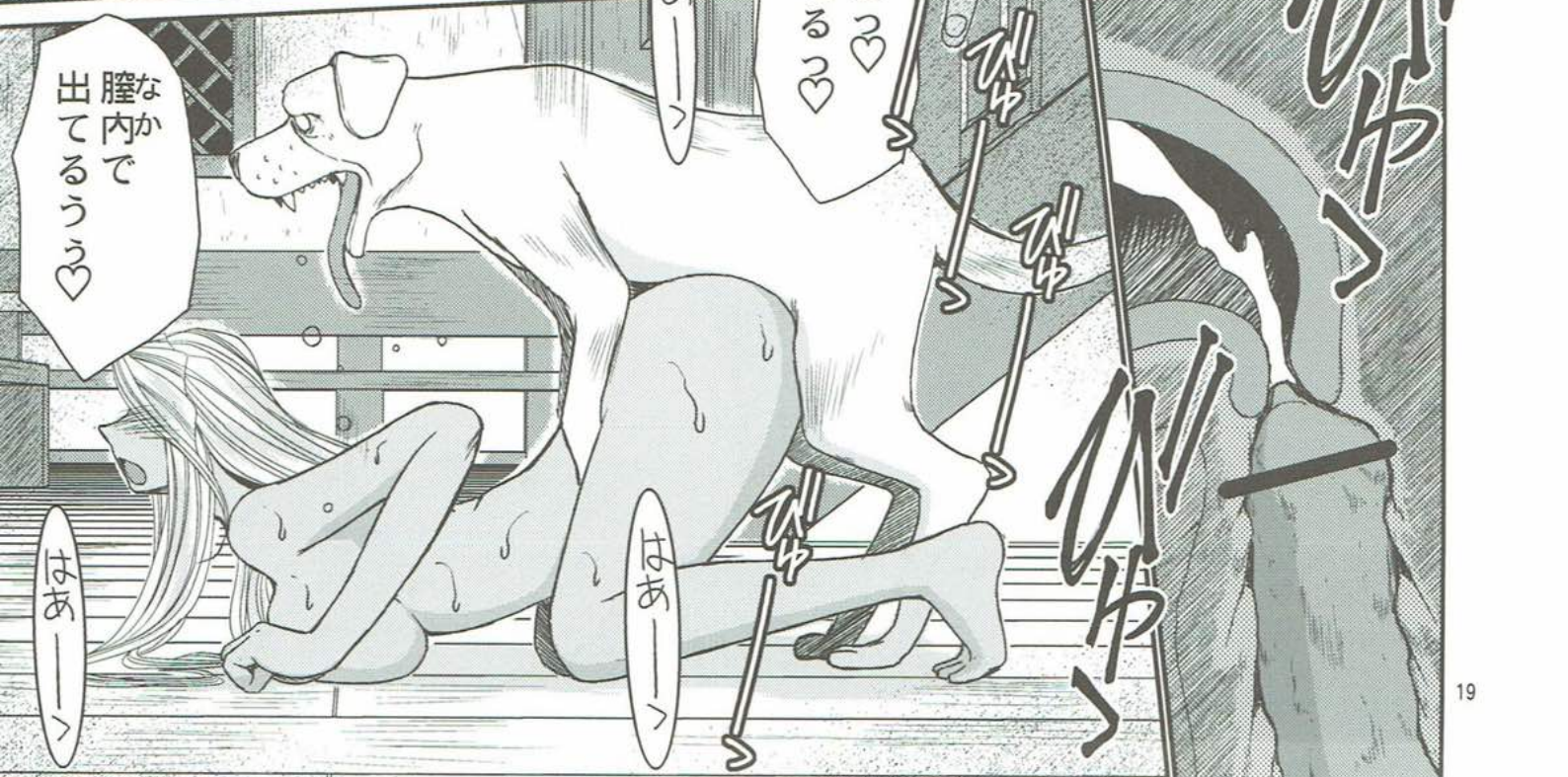
ハハハハハ

イイイイイ

イイイイイ

あ

あ



膣な
内か
で
出
て
る
う
う
♡

あは♡
出
て
る
♡

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

あ



なに？

え？

むく
むく...

ハッ

ハッ

膨らんでる？

ハッ

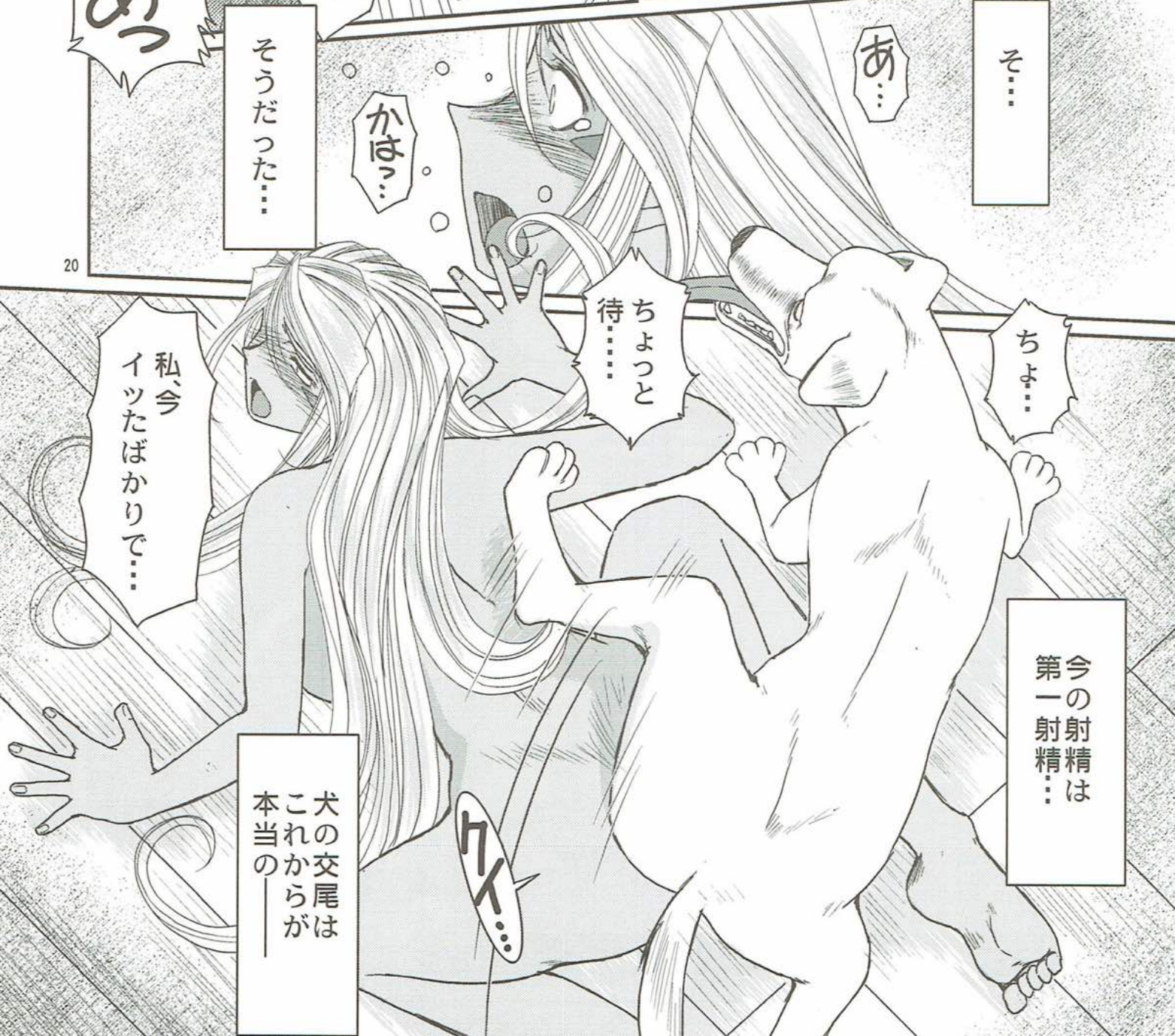
きゃあ
きゃあ

そうだった...

かは...

あ...

そ...



ちよこと
待...

ちよ...

私今
イッたばかりで...

今の射精は
第一射精...

犬の交尾は
これからが
本当の

クク...

本当の
交尾

あゝ

この体制…

交尾結合になってからが
本当の射精

根元の亀頭球が膈内で
膨張してペニスが

射精する

抜けないっ

おちんちん
抜けないっ

ペニスは膈内で
さらに大きくなり
延々と射精し続ける

また
射精する

あゝ



射精される度に
今まで注ぎ込まれた
男達の精液が...

ああっ
溢れてるっ

オオオオオ

ああっ
ああっ
ああっ

押し流され...
洗い流され...

チンポ汁
あふれてるっ

犬の精液に
塗り替えられていく

あっ♡

私の膣内が
犬の...

犬のチンポで
またイッちゃう

ううん
私自身が...

ああっ
イクッ

あっ♡

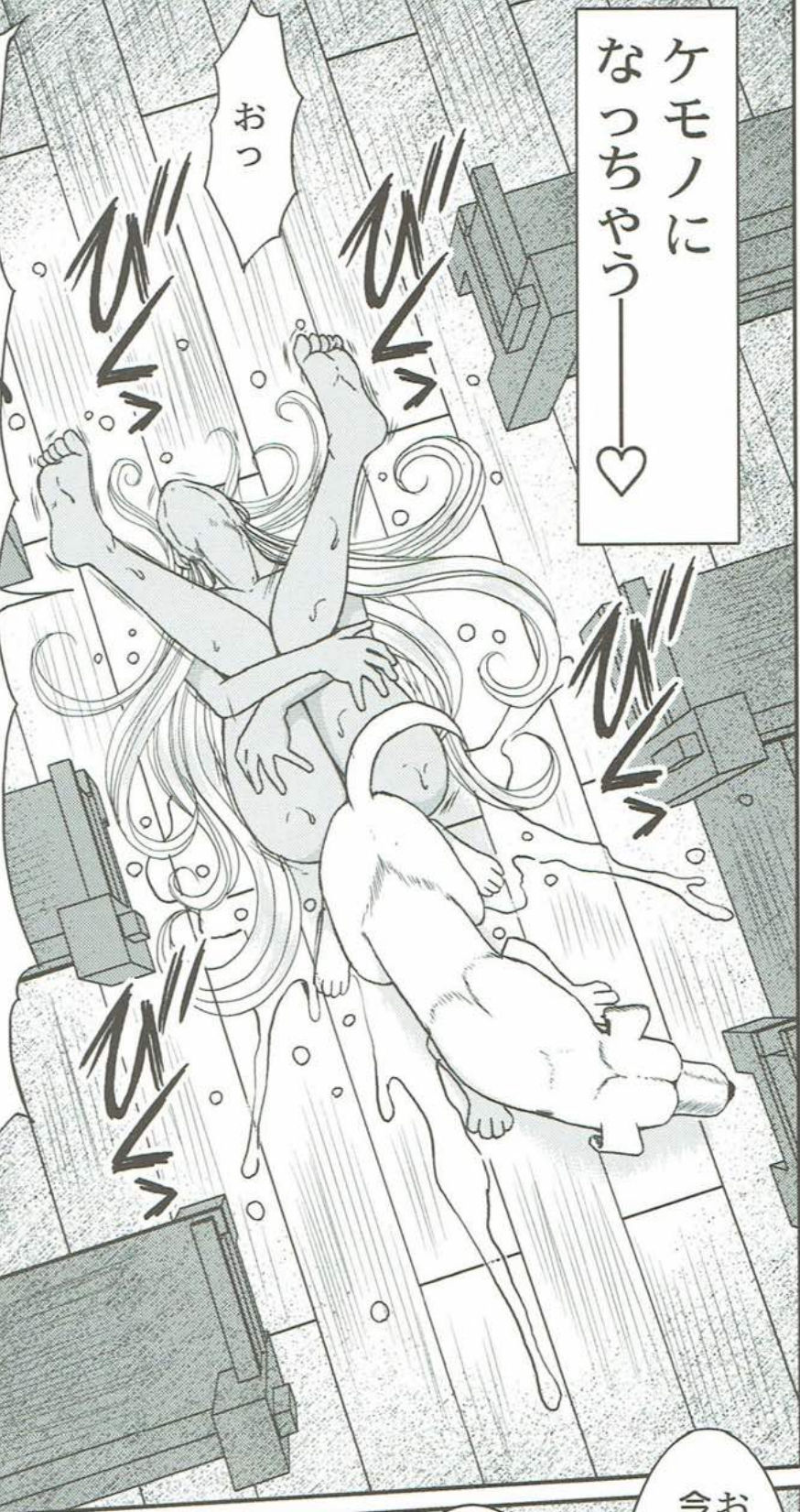
ケモノになつちやう——♡

おっ

おおおおおお

はははっ

犬にイカされてるぜ



また小便を漏らしたな

犬の汁と混ぜってグチャグチャだ

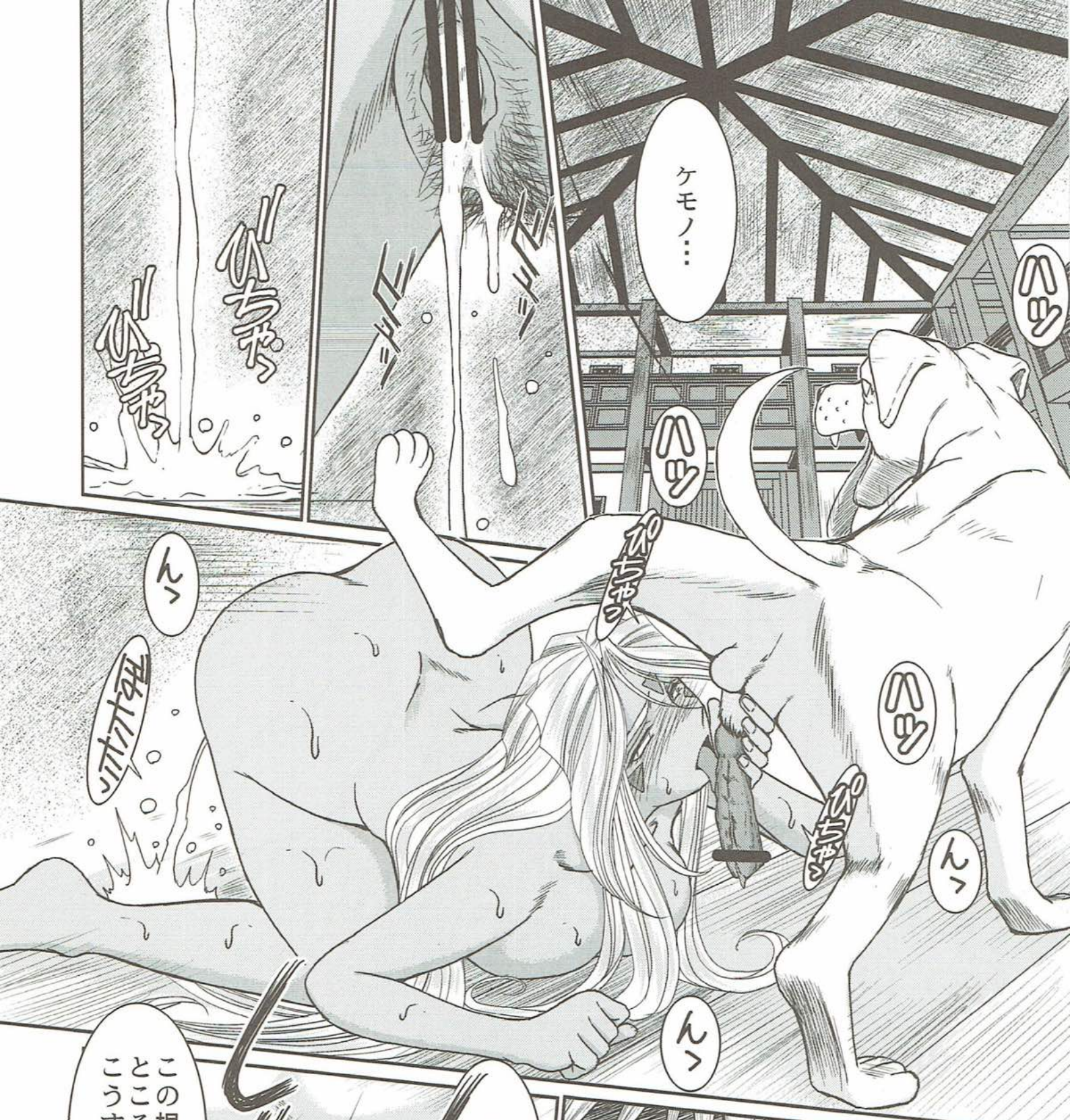
おまけに聴いたか今の声

ああ、どこのケモノかと思つたぜ

ケモノ…

!





ケモノ…

ハッ

ハッ

ハッ

ん

ん

ハッ
ハッ

ん

ハッ

この根元の
ところを
こうすると…

……

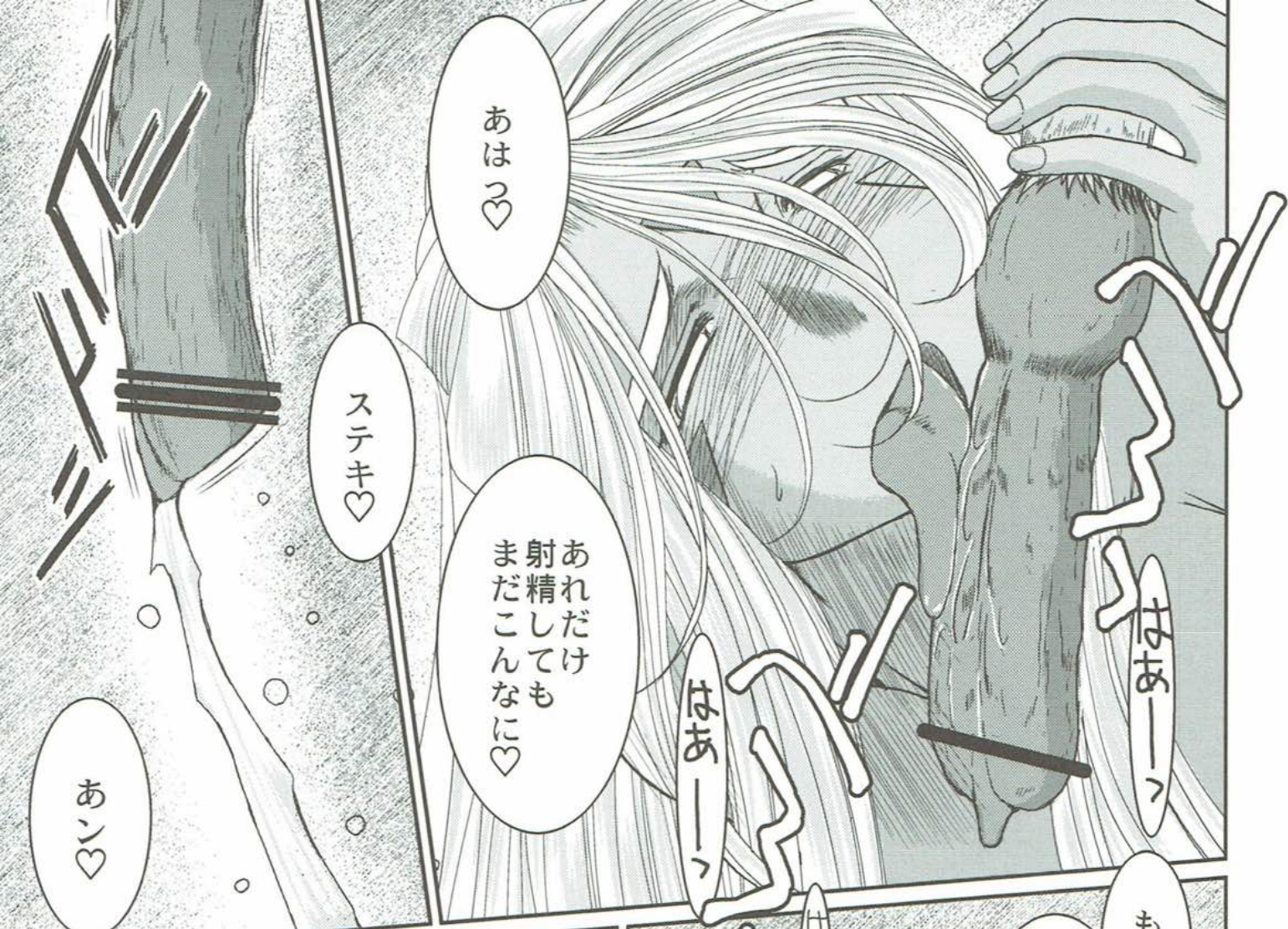
ハッ

ハッ
♡

ん

ケモノ…

ん



あ♡

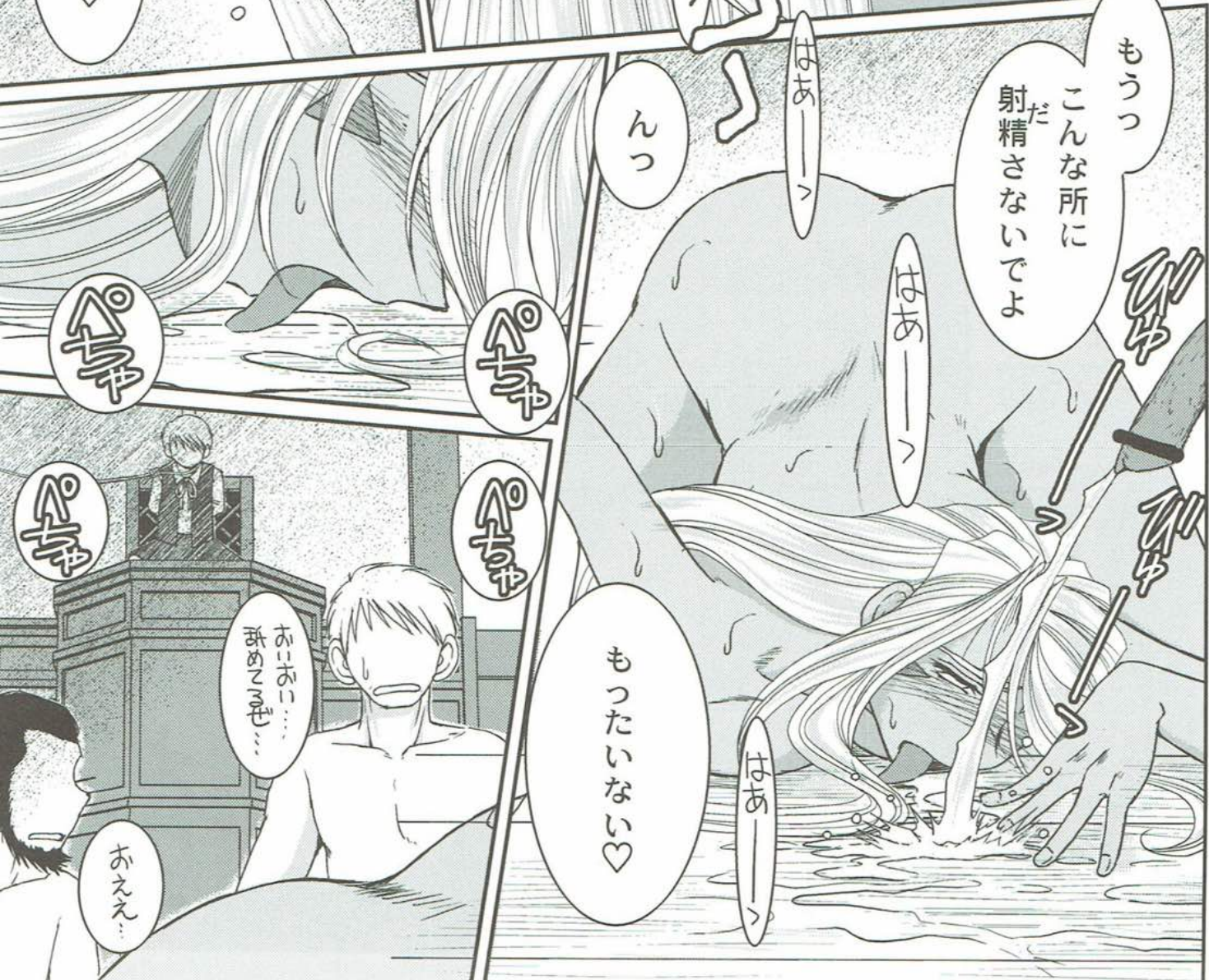
あはっ♡

ステキ♡

あれだけでも
射精しても
まだこんな♡

はあー

はあー



もうっ
こんな所に
射精ださないでよ

んっ

もったいない♡

はあー...
はあー...

おええ...

さあ早くっ

その大きさのまま
来て♡

ケモノ…

違うっ

あっ

さつきよりも
太くて長い♡

すごい

んんん♡

おまんこの
奥に♡

ウルドは
ケモノなんかじゃ…

ない…

オウツ

おっ♡

オオオ

あああ



オオッ

オオッ
オオッ

オウッ

あー
あー
あー

うん
うん

ケモノ
なんかじゃ...

アオオオオ

アオ...

オッ

オッ

オオッ

オッ

オッ

オッ



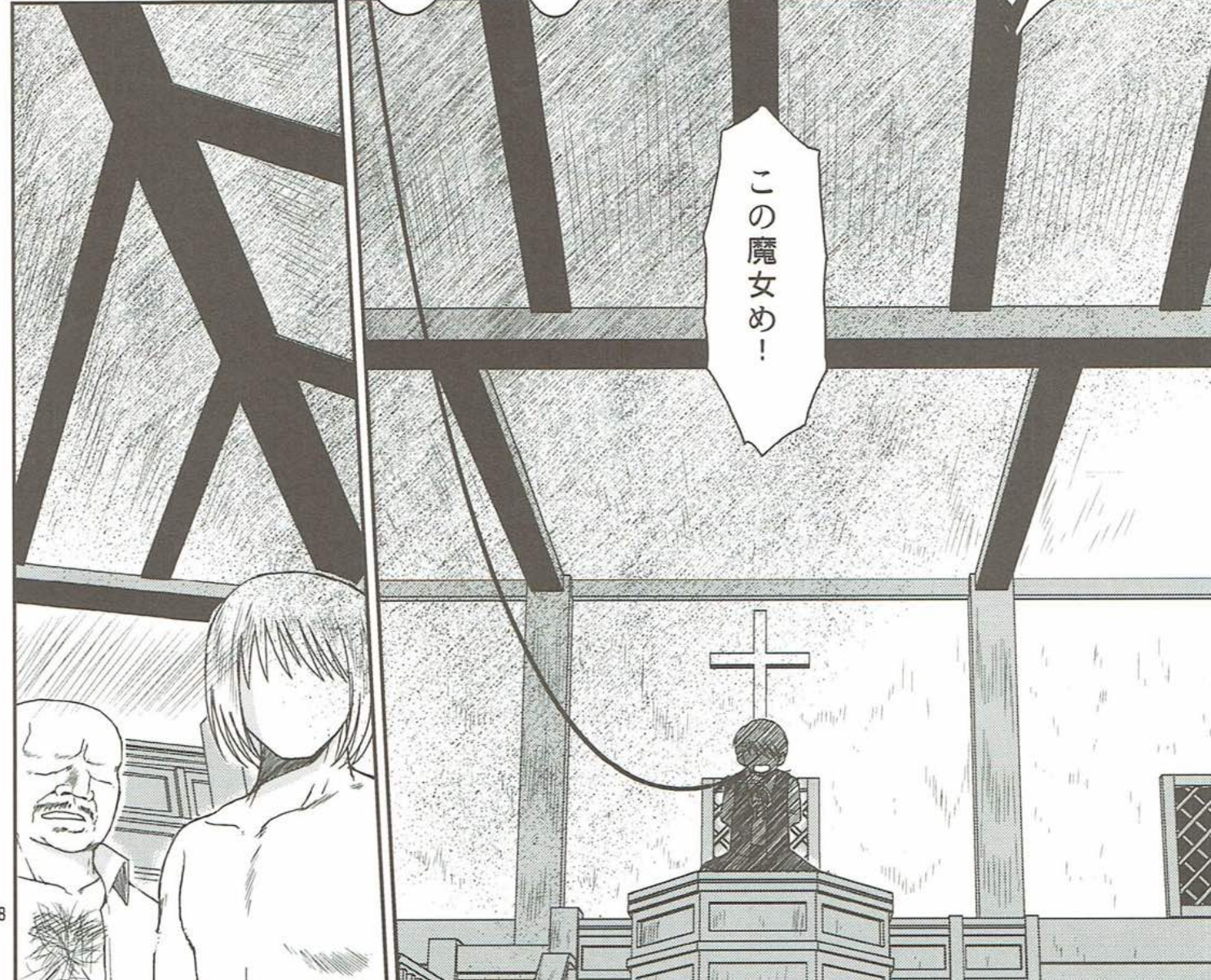
ケダモノ!

オオオオオ

オオオオ

///...

///...



この魔女め!

わかったよ
神父様…



ウルドは
天使なんかじゃ
ない…

僕や村の人
みんなを騙して
悪の心に引き込もう
として…

ウルドは
魔女だ

正真正銘の
魔女だよ



ア…
ア…
ア…

縄を
解いてやれ

ククククク…

よくぞ改悛
してくれたね
ア…サ…

私は
信じていたよ



くやしーよ

あんな汚らわしい
魔女に騙されて
いたなんて

いつそのこと…

僕の手で
魔女を処刑して
やりたいよっ

ほほう

それはいい

神もお許しに
なるだろう

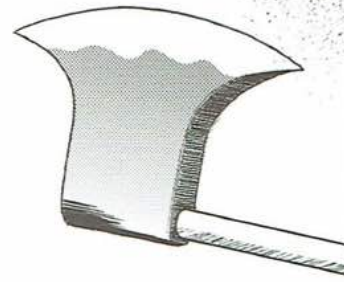


さあ…

やりなさい
アーサー

おまえ自身の
手で…

魔女に
正義の鉄槌を
与えてやるのだ



なんで
ガキなんか…

ガキが
殺してくれた方が
俺達には
都合だろ？

村の連中には
まだウルドに好意を
持つてる奴もいる

もし村の連中が
何か言ってきたら、
その時はガキを
始末すればいい

ウルド…

いや魔女め

よくも…
よくも僕を
騙してくれたな

死んで…

なるほど

さすが神父さま♡

アーサー

死んで
神様に謝れ！



うっ

貴様っ

ドアを開ける

ウルドを外へ
逃がすんだ

さもないと
神父様の首を
かき切るぞ…



この
ガキッ

さあウルド
立って！

早く
逃げるんだっ

アーサー



僕は大丈夫
だよ

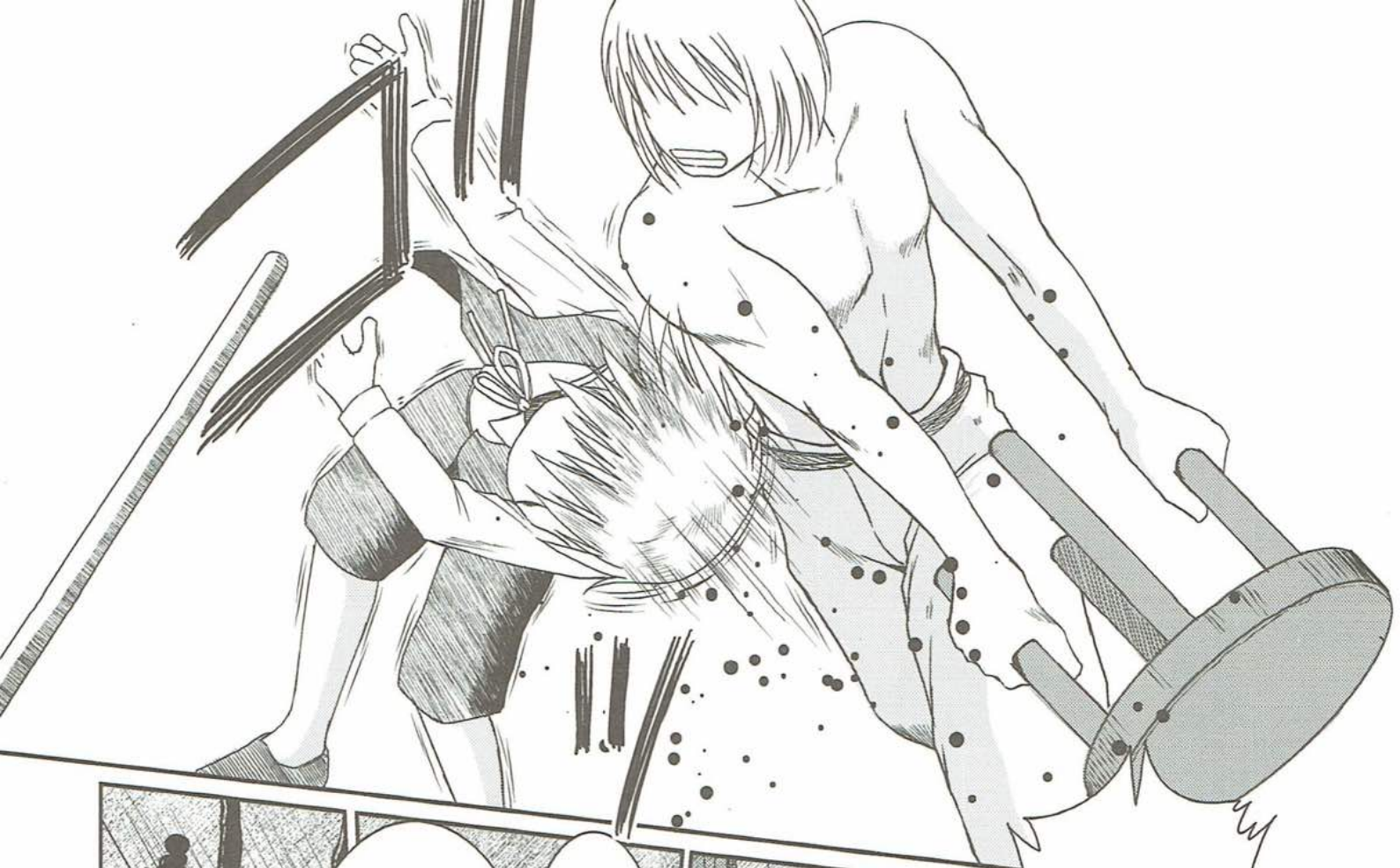
どんな事が
あっても
ウルドを魔女に
なんかしない

アーサー

だから
早く—

アーサー
あぶないっ

！



アーサー

ふん

やはり一度でも
墮落した人間は
改悛すること
不可能な様だ
な

少しでも
信じてしまった
俺が馬鹿だったよ

面倒だ
今すぐ二人まとめて
ぶっ殺しちまえ

悪魔に
憑りつかれた
奴等だ

理由は
どうにでもなる

そう…

わかったわ…

あんた
人間たちが
それほどまで

「悪魔を望むなら…」

その望みを…

叶えてあげるわ

雷

光

召

喚

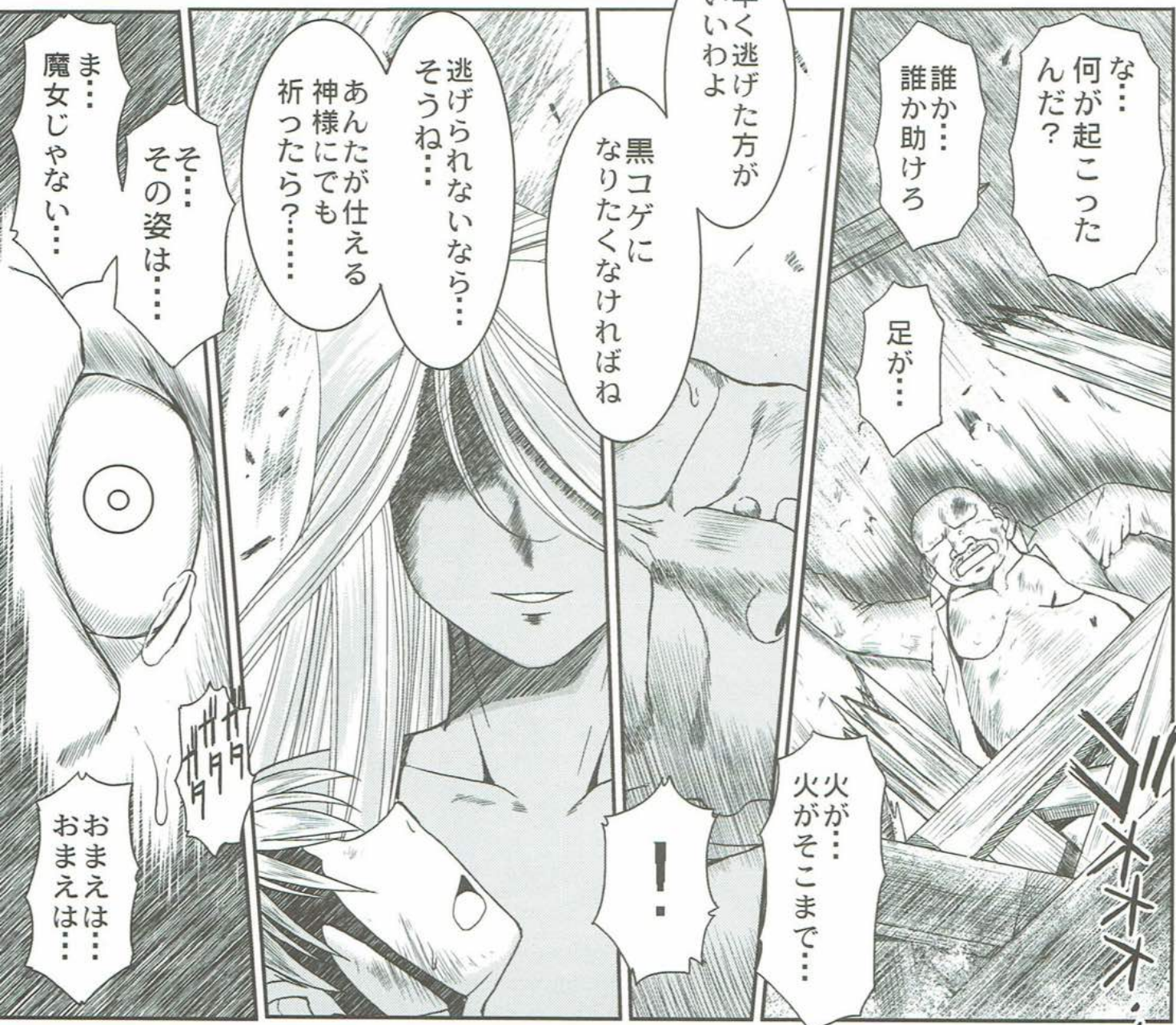
!





うあああ
ああ...

う...



な...
何が起こった
んだ？

誰か...
誰か助ける

足が...

早く逃げた方が
いいわよ

黒コゲに
なりたくなければね

逃げられないなら...
そうね...

あんたが仕える
神様にでも
祈ったら？...

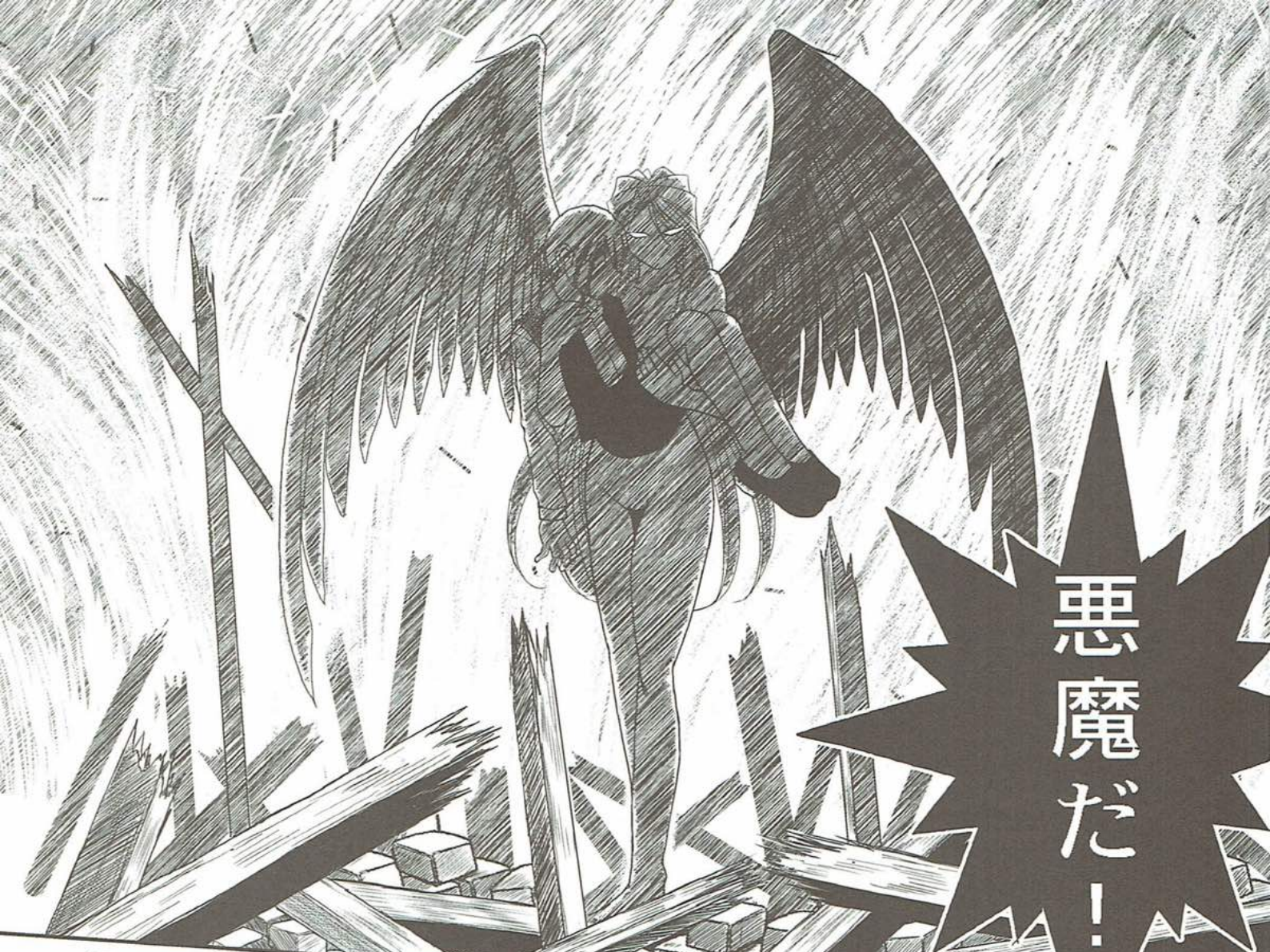
そ...
その姿は...

ま...
魔女じゃない...

おまえは...
おまえは...

火が...
火がそこまで...

！



悪魔だ！



火が…！

あああああ

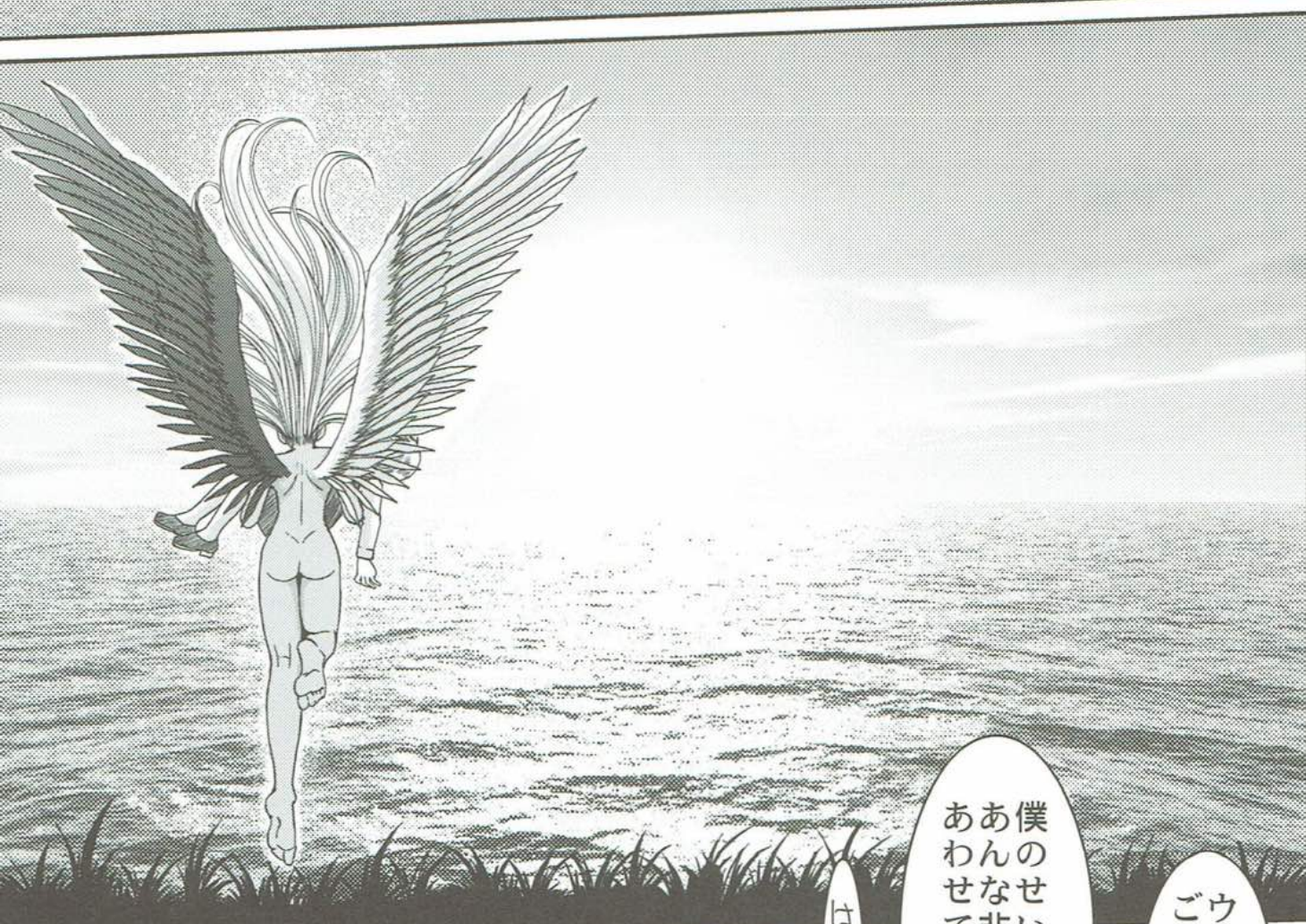
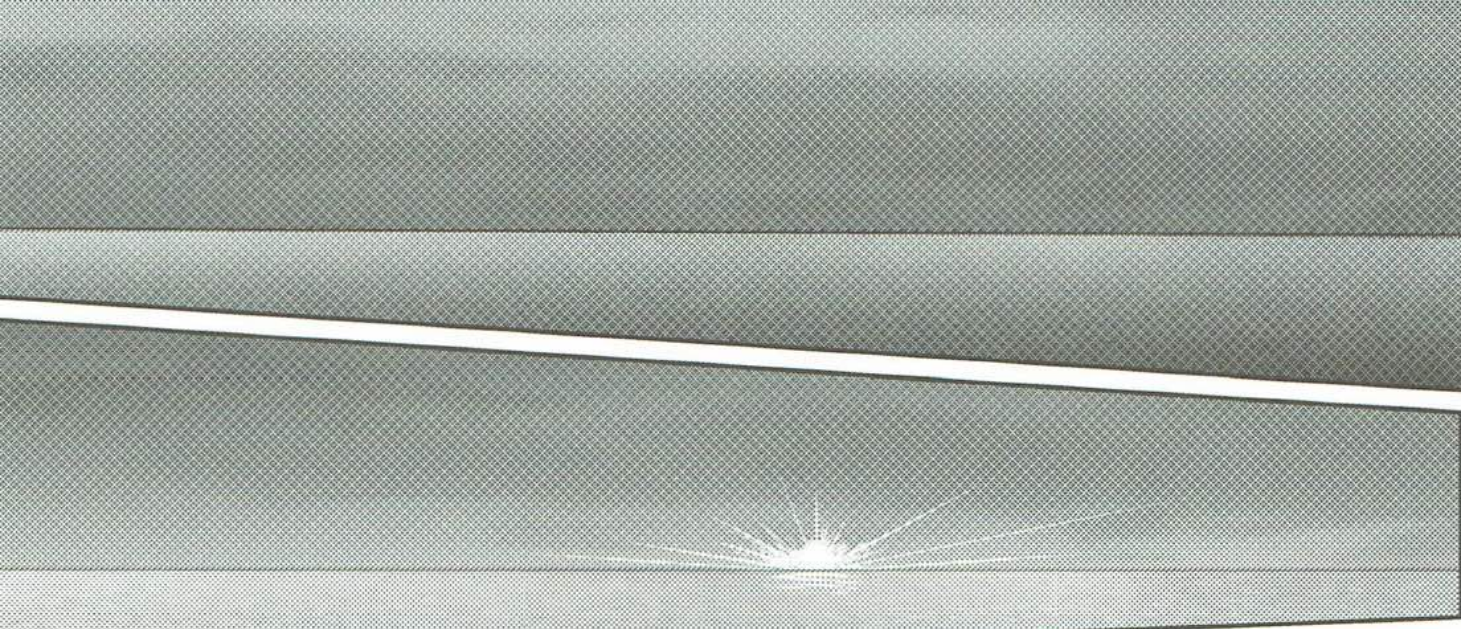


助けて
くれっ

ま…
待ってくれ！

火が…！





僕のせいで
あんな非道い目に
あわせて……

ウ……ウルド
ごめん……

はあ——

はあ——

はあ——

ウルド……

しやべつちや
だめ

大丈夫…

傷はすぐに
治るわ…

謝るのは私の方よ

私が

え？
なに？

綺麗だ…
ウルド…

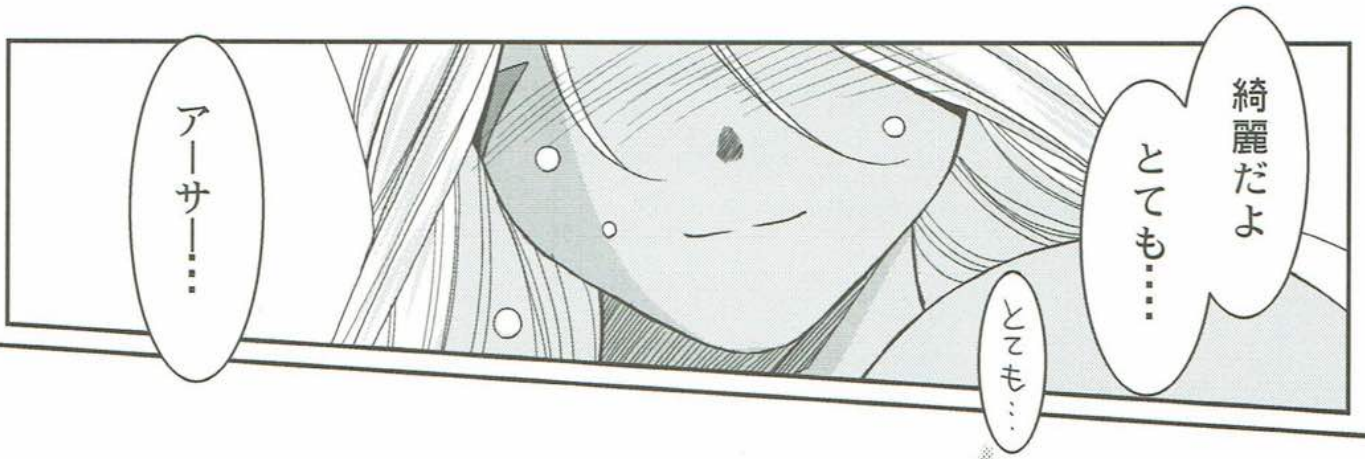
よかった…

やっぱり
ウルドは
天使だったんだね

今の僕には
片方しか見えない
けど…

真っ白な翼が
とても…

とても
綺麗だ…



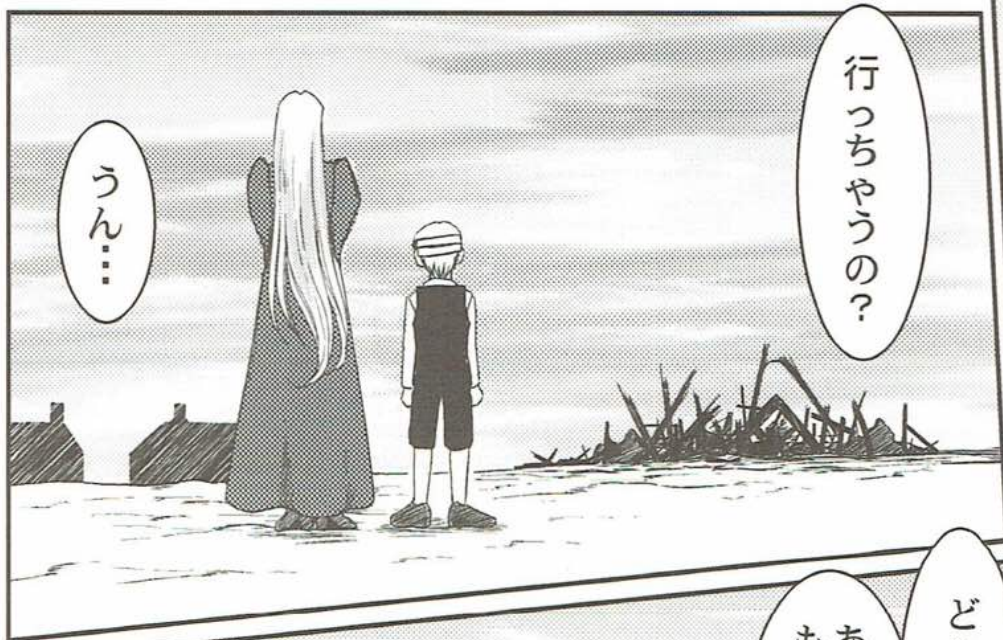
アーサー！…

綺麗だよ
とても…

とても…



ありがとう



行っちゃおうの？

うん…

あなた人間が望んでくれるなら…



どうしてさ

あの神父達ももういないし

僕はウルドの秘密は誰にも

ごめんね



これ以上私がここにいたら…

またあなたや村のみんなに迷惑がかかるかもしれないわ

この肌の色もあるしね…

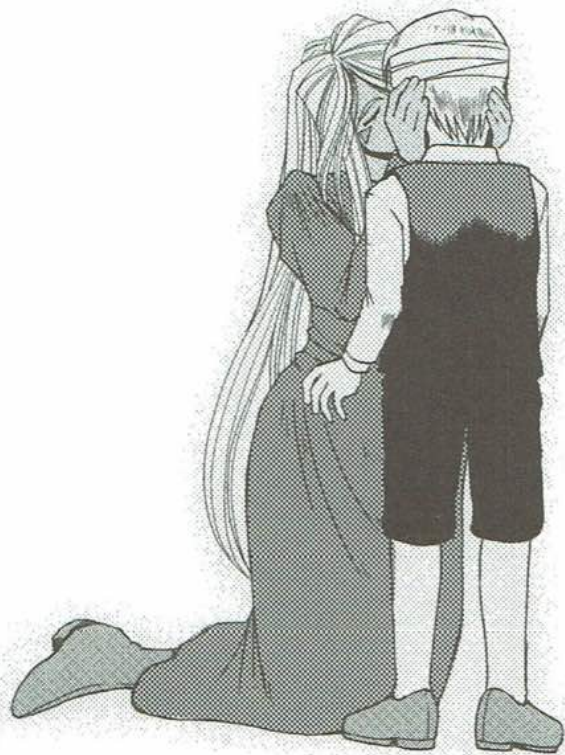
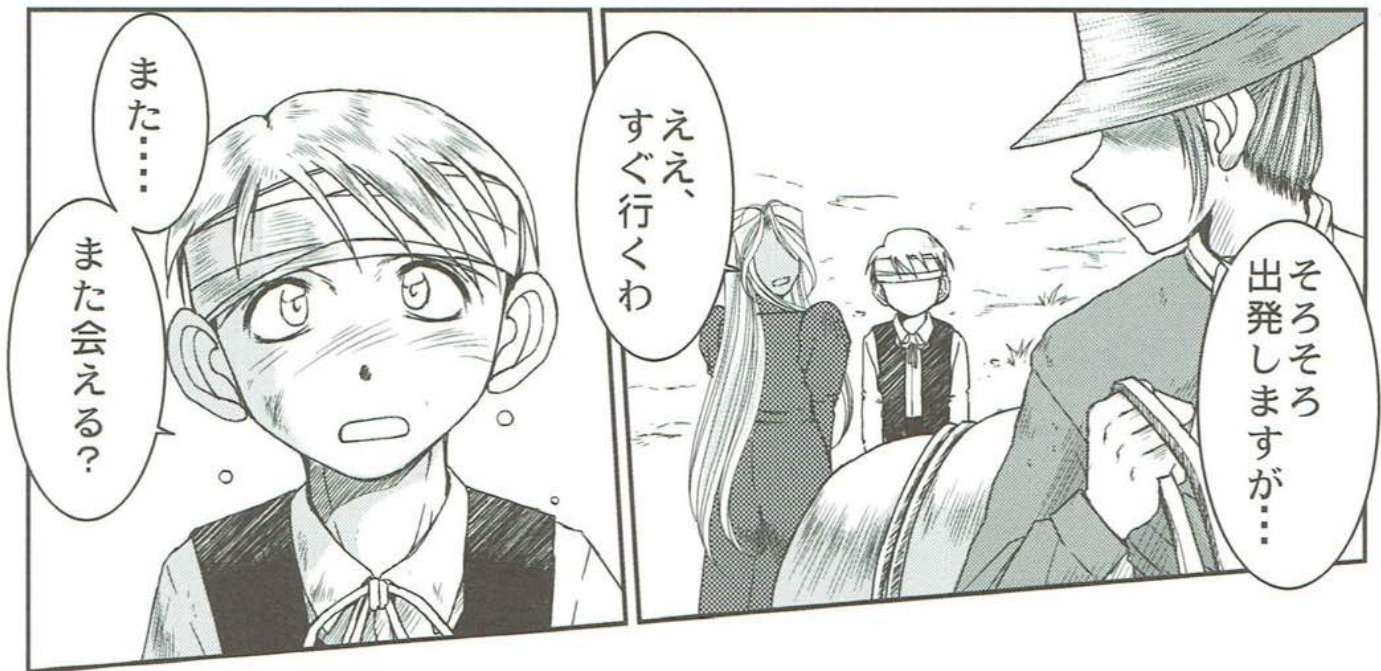


それに、私は天使でしょ

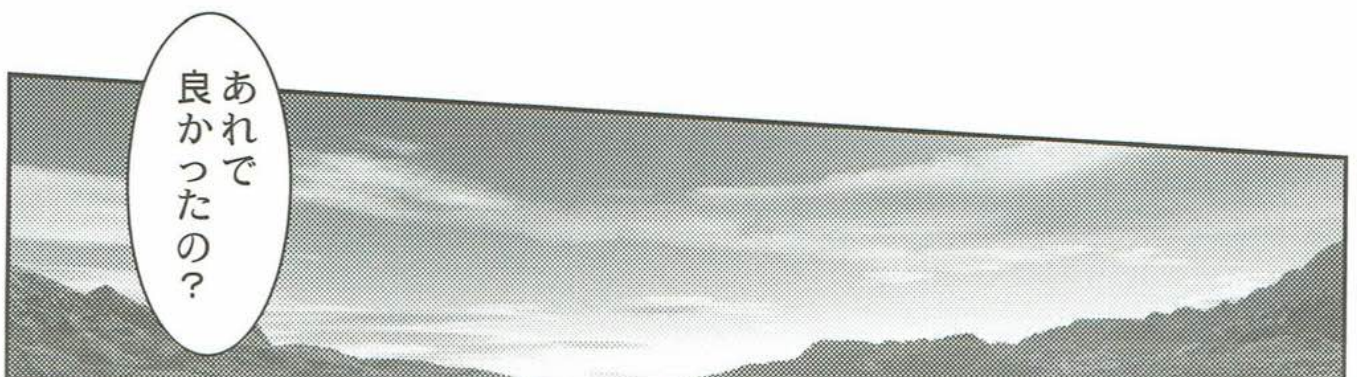
他にもたくさんの人々を幸せにしなければ…

そう…
そう…

私は…



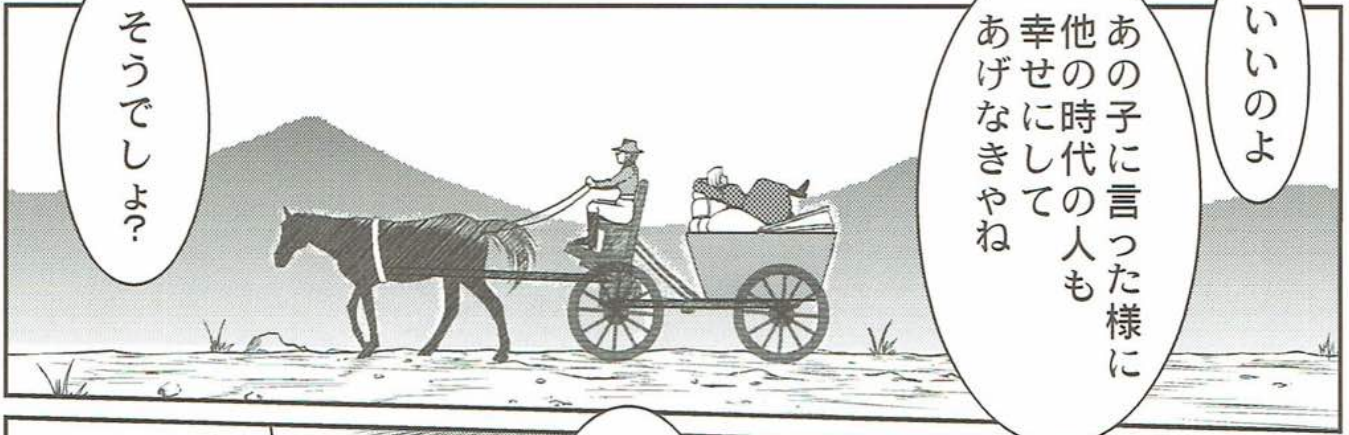
私はいつも
あなた
人間をみているわ



いいのよ

あの子に言った様に
他の時代の人も
幸せにして
あげなきゃね

そうでしょ？



私は――

女神
なんだから



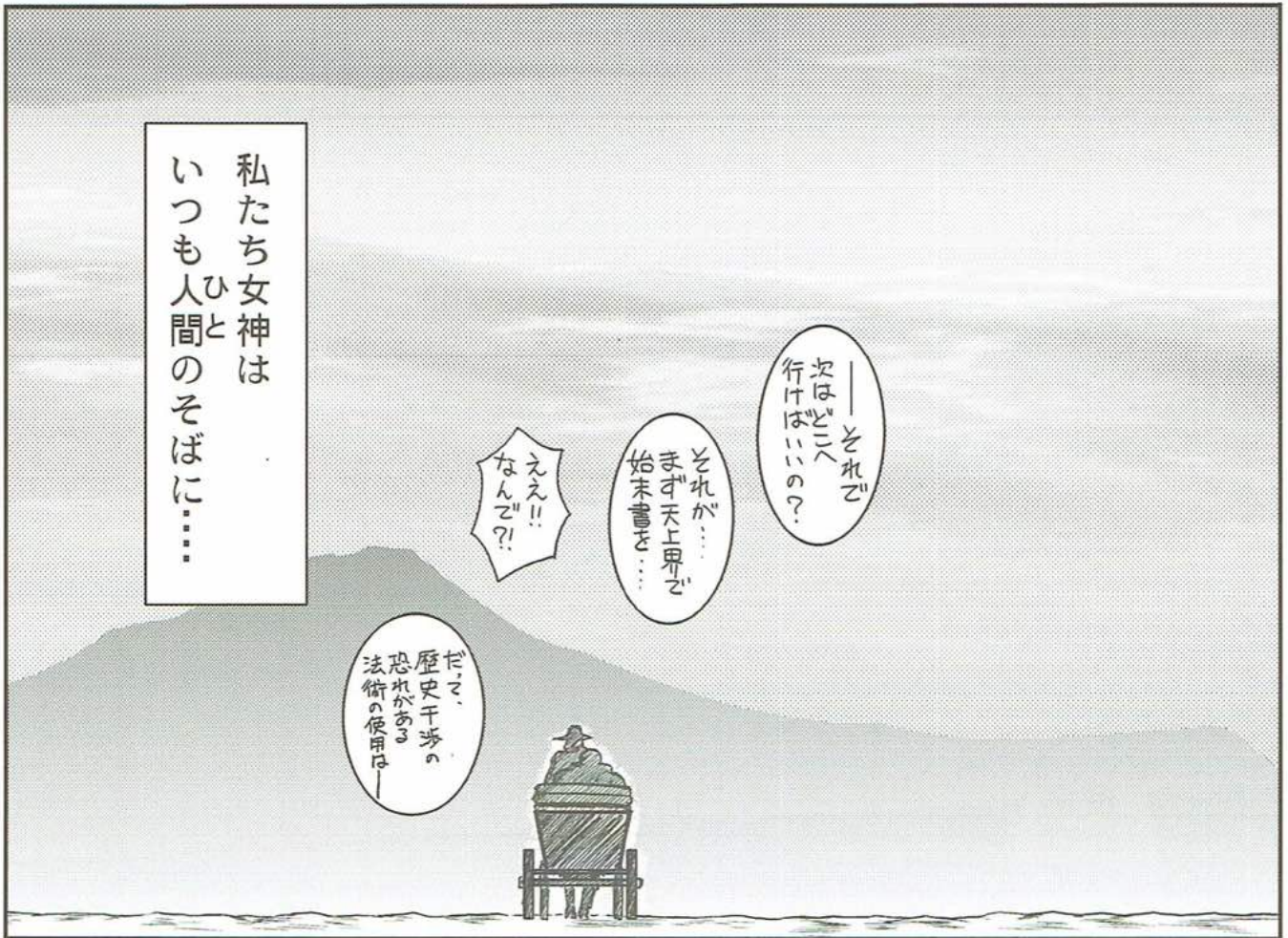
私たち女神は
いつも人間ひとのそばに……

――それで
次はどこへ
行けばいいの？

それが……
まず天上界で
始末書と……

ええ!!
なんぞ?!

だ、だ、
歴史干渉の
恐れがある
法術の使用は――



毎度どうも千葉です。

昨年冬からはじめてみましたこのお話ですが、一応今回でオシマイです。

ちょこっと補足をしますと、
一応元ネタは1696年の「セイラムの魔女裁判」です。
そこに「クルーシブル」やら「緋文字」やら「残酷女刑罰史」やら（汗）
色々ゴチャマゼにして描いてみました。
（時代考証的な細かい矛盾点は多めにみて下さい（汗））

この度もご購入頂きまして、ありがとうございました。
楽しんで頂ければ幸いです。

さて次回は……
そろそろ中断している昨年夏のお話の続きを……
でも、今回の様な歴史シリーズも続けてみたいんですが…

ではまた。



発行：サークルOUTERWORLD

発行人：ちばしゅう（千葉秀作）

表紙デザイン：剣崎ぢゅん

発行日：2008年12月30日（初版）

2011年4月29日（改訂再版）

印刷所：コーシン出版（改訂再版）

連絡先：c_outerworld@jcom.home.ne.jp

<http://c10000199.circle.ms/cr/CircleHome.aspx>

ADULT ONLY!

CAUTION!

CAUTION!

CAUTION!

CAUTION!

CAUTION!

CAUTION!

CAUTION!

ADULT ONLY!

CIRCLE
OUTERWORLD
MIDGARD

[haga1] 2008 WINTER N

CAUTION!

